

播磨科学公園都市 まちびらき

8月1日盛大に開催



まちびらきを祝う小学生による大合唱

一日(金)、まちびらきを迎えた播磨科学公園都市では、はりま夢・サイエンス館のオープンに始まり、サマーフェスティバル、記念式典、はりま光のページェントと、終日イベントが繰り広げられ、約一万七千人の家族連れなどでにぎわいました。

はりま夢・サイエンス館では、十九社の企業が協賛し、製品や機器類の展示を通して科学のしくみを紹介したり、実際にモーターなどをつくる実験教室を開催。また、ピエロが登場し科学の不思議さを紹介する「サイエンスショー」も開かれています。

記念式典では、貝原知事と地元小学生が霧とシャボン玉で人口の虹をつくるセレモニーに引き続き、自治体関係者約八百六十人が出席し、祝賀式典を開催。知事から「世界の科学技術に大き



シャボン玉と霧による虹づくりセレモニー

く貢献する大型放射光施設。今後も地元の方々と共に西播磨の誇るべき財産となるよう都市の熟成に尽力したい」とあいさつが述べられ、播磨高原東小学校六年の山田翔平くんが高らかに「まちびらき宣言」を行いました。

はりま光のページェントでは、シンセサイザーの重低音の演奏が響く中、レーザー光線が飛び交い、紅白の獅子が祝いの舞を披露。そして、曲にあわせモニターが上り、仕掛け花火が打ち



夢・サイエンス館でゲームも楽しめます



イベント広場(奥は光都プラザとサンライフコート)



いろいろな展示物も楽しさいっぱい

上げられる幻想的な光のショーをみなさん堪能しました。その他、大道芸のパフォーマンスや子どもプール、シャボン玉マシンも用意され、子どもたちの歓声でにぎわいました。

地区センター 「光都プラザ」 もオープン

住民の生活利便の向上や新都市のイメージアップを図る交流拠点として、七月二十八日に「光都プラザ」がオープンしました。

同施設は、鉄筋二階建て、平屋二棟からなり、スーパーのほか理髪店、薬局、レストラン、居酒屋などの店舗や交番、郵便局、行政サービスセンターなどの行政機関も集約されています。また、新都市の施設や将来像を模型やパネルで紹介するPR館「オプトピア」も開設されています。



約20の店舗が集められています